

2016年12月26日 第190号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4階 全労連内 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

2017 年へむけて

～新年から「安倍暴走政治ストップ！」で始動を～

安倍政権の暴走政治は、臨時国会での TPP、年金カット、カジノなどの悪法をあいついで強行成立させたように、ますます暴走を強めています。暴走政治を止め、憲法改悪をストップさせるために、年明けから様々な行動にとりくみましょう。



沖縄全国統一署名を推進しよう ④

憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）事務局長 平井 正

心配が現実のものとなり、不安が姿を現わして襲いかかってきました。オスプレイの 12 月 13 日の墜落、そして 19 日からの飛行再開です。墜落現場に海上保安庁など日本の捜査関係者も沖縄県など行政担当者も入れさせず、事故原因の調査と発表はアメリカ軍が単独でおこなっていること、調査結果も明らかにしないまま稲田防衛大臣は「理解できる」と容認し、植民地のかいらい政権でも口にできない恥ずべき対応は異常としか言いようがありません。

米軍が設定している日本全土のオスプレイの低空飛行訓練ルートは 21 県 140 市町村の上空に張り巡らされ、日米共同整備拠点となる千葉・木更津をはじめ、横田への配備、佐賀空港への自衛隊の導入機配備が企まれています。

オスプレイの配備と訓練・飛行は、沖縄と全国各地一体のものであり、市民・国民の安全と暮らしにかかわる重大問題です。

また 20 日には辺野古の米軍新基地建設をめぐる裁判で最高裁は、県民の声に耳をふさいだ不当判決を下しました。安倍政権は工事再開をねらっています。どこまで民意を踏みつけにするのか。

いまこそ沖縄全国統一署名の圧倒的な推進で、沖縄と全国の力をひとつに、オスプレイの飛行中止と配備撤回、新たな導入反対、辺野古新基地建設阻止の声をあげようではありませんか。

**沖縄の民意尊重 基地の押し付け撤回 オスプレイは日本のどこにもいらない
沖縄「全国統一署名」に取り組みましょう！**

民意じゅうりん、国民の怒り無視の不当判決に抗議する 沖縄・辺野古沖への米軍新基地建設阻止のたたかいを強めよう

最高裁は、12月20日、沖縄県名護市辺野古への基地建設をめぐる裁判で、「(知事が)埋め立て承認取り消しを取り消さないことは違法」として沖縄県の上告を棄却する不当な判断をおこなった。新基地建設反対の沖縄県民の民意をどこまで踏みつけにしたら気がすむのか。憲法共同センターは、判決に強く抗議する。

裁判の争点の一つは、外交や安保といった問題でも、国と地方の対等な関係を認めた憲法理念に沿った判決か否かという点にあった。今回の最高裁判決は、その点での判断を回避するという不当なものであった。辺野古での米軍基地建設をめぐるのは、仲井眞前沖縄県知事が公約を破って埋め立てを承認し、これを不満とする県民の意思は、2014年12月の県知事選挙をはじめとして繰り返し示されてきた。辺野古に基地は作らせない、ということが沖縄県民の総意であり、前知事の承認に瑕疵があるとして取り消した翁長知事の処分は地方自治の本旨にそったものである。一方の国は、国地方紛争処理委員会が協議による問題解決を求めたにもかかわらずに国土交通大臣が是正命令を発するという地方自治蹂躪の対応をおこなっていた。

最高裁はそのような憲法にかかわる判断を避けてしまった。憲法の番人としての最高裁の姿勢が問われる問題である。

二つは、判決は、仲井眞前知事の埋め立て承認を「妥当性を欠くものではない」として違法性も不当性もないとして是認し、翁長知事による承認取り消し権を制約したことである。このような論理の組み立てでは、埋め立て承認後の選挙で示された民意を実現する手立てがなくなってしまう。民主主義制約の判決だと言わざるを得ない。

三つは、一審の福岡高裁那覇支部は、世界一危険な普天間飛行場の被害をなくすには辺野古新基地建設以外にないという安倍内閣の主張を全面的に支持するという行政判断の代替を行っていた。さすがに最高裁は、そのようなふみこみは行わなかった。

しかし、在日米軍基地の4分の3が集中し、銃剣とブルドーザーで米軍基地が建設されたという沖縄の過大な基地負担の現実にも目を向けることはなかった。その点で、法の形式論の範囲にとどまる不当な判決となっている。

裁判が終結したことを受けて、国は年内にも新基地建設工事を再開する構えを示している。さらに、岩礁破碎許可や工事計画変更など、翁長知事が持つ権限を制約、剥奪して、工事を強行する構えさえ示し始めている。民意よりも米軍基地、沖縄県との協議よりも権力総動員、とする安倍政権の姿勢が今回判決を契機にさらに強まる状況にある。

それだけに、沖縄県民と連帯した全国的な闘いを大きくしていかなければならない。沖縄のいたみは全国のいたみである。立憲主義、平和主義、民主主義守れと広がった市民運動とも固く連携し、開始している「辺野古新基地建設反対署名」を軸に、大きく運動を進めよう。

不当な最高裁判決への怒りを胸に、沖縄のたたかいとの連帯を絆に、辺野古新基地建設中止、普天間基地・オスプレイ撤回の日までたたかいぬこう。

2016年12月21日

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

【当面の行動日程】

市民連合大街頭宣伝

- 名称：市民連合大街頭演説会
- 日時：2017年1月7日（土）13:00～
- 場所：J R「新宿駅」西口
- 内容：立憲野党と市民連合スピーチ

1月の「9の日」行動

☆年の初めの宣伝です。☆にぎやかに全国各地でとりくみましょう！

<東京都内>

- 日時：1月10日（火）12:00～13:00
- 場所：J R「新宿駅」西口
- 主催：憲法共同センター、東京憲法共同センター

1月の「19日」行動

全国各地でとりくみましょう！

- 名称：安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は戦地に行くな！1・19国会議員会館前行動（仮称）
- 日時：1月19日（木）18:30～19:30
- 場所：憲法共同センターは国会図書館前に集合
- 主催／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

2月の「9の日」行動

全国各地でとりくみましょう！

<東京都内>

- 日時：2月9日（木）12:00～13:00
- 場所：J R「新宿駅」西口
- 主催：憲法共同センター、東京憲法共同センター

安倍 NO！＋野党共闘 大行進

- 名称：安倍政権 NO！＋野党共闘☆0114 大行進 in 渋谷
- 日時：1月14日（土）13:15～
集会 13:15～14:00／デモ出発 14:00～15:30 頃終了予定
- 場所：代々木公園けやき並木（渋谷、NHK側）
- 主催：安倍政権 NO！☆ 実行委員会

2月の「19日」行動

全国各地でとりくみましょう！

- 名称：安倍政権の暴走止めよう！戦争法廃止、沖縄問題、貧困と格差～一大政治キャンペーン運動を（仮称）
- 日時：2月19日（日）午後予定
- 場所：東京・日比谷大音楽堂
- 主催／戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

以 上